

兵庫県水産技術センターだより

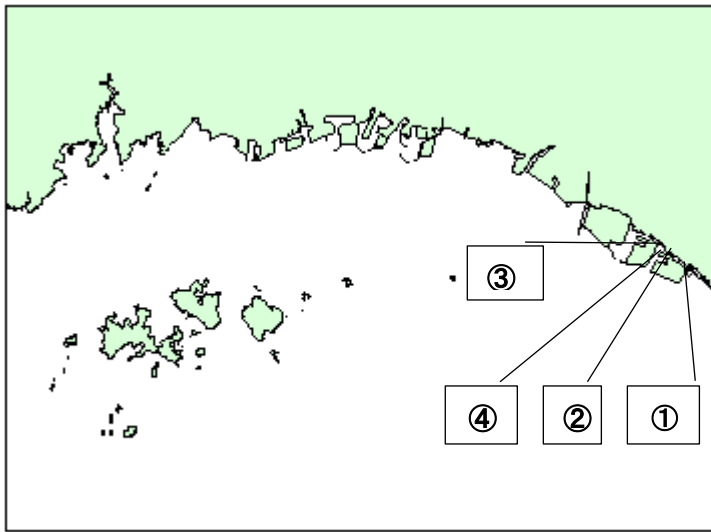
赤潮情報 AK-03-20 号 (播磨灘北部：臨時)

令和3年7月29日発行

7月29日に赤潮プランクトン調査（播磨灘北部：臨時調査）を実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・魚類を斃死させる有害赤潮プランクトン（シャットネラ マリーナおよびオバータ）が高密度に発生しています。播磨灘北部では継続して出現していますので、今後の動向にご注意ください。
- ・赤潮の発生しやすい時期を迎えていますので、海況や海色の変化にご注意願います。



シャットネラに警戒を！

- ・魚類養殖を行っている地区では、海水が茶褐色に変色している場合や魚の様子がおかしいと思われる場合、餌止め等の処置を行って下さい。
- ・魚の畜養等にも十分注意し、活魚を積んだ漁船の航行に際しては、変色した海域を避けるなどの対策を講じて下さい。



注意が必要な赤潮プランクトンの密度

シャットネラ・アンティカおよびマリーナの合計値

注意体制： 10 細胞/ml 警戒体制： 100 細胞/ml

カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ

注意体制： 500 細胞/ml 警戒体制： 5,000 細胞/ml

ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ

注意体制： 50 細胞/ml 警戒体制： 500 細胞/ml

赤潮プランクトン調査結果（海水1ミリットルあたりの細胞数）

調査地点	水深 (m)	ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ	カレニア(ギムノディニウム)・ミキモトイ	シャットネラ・アンティカおよびマリーナ	シャットネラ・オバータ	シャットネラ・グロボサ	シャットネラ・バルキウロサ	コクロディニウム・ポリクリコイテス	ヘテロギマ・アカオ
①	0	0	0	306	56	6	0	0	0
②	0	0	0	348	17	11	0	0	0
③	0	0	0	1910	90	80	0	0	0
④	0	0	0	4360	240	300	0	0	60

※本調査は、東播磨港内で水産技術センターが採水し検鏡調査したものです。採水は陸上から係船場所周辺で行っています。

【今後の調査予定】 次回は8月3日に定期調査（播磨灘）を予定しています。調査結果がまとまり次第、「赤潮情報 AK-03-21号」として発行予定です。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター（担当：水産環境部 妹背、中桐）
Tel : 078-941-8602 Fax : 078-941-8604 Homepage : <http://www.hyogo-suigi.jp/>